



2026年4月16日

各 位

会 社 名 abc 株式会社  
代表者名 代表取締役社長 松田 元  
(コード：8783、スタンダード市場)  
問合せ先 経営企画部 部長 谷井 篤史  
<https://www.gfa.co.jp/form/corp/>

## フィジカル AI ロボット事業への参画に関するお知らせ ～ヒューマノイドロボット領域における研究開発および事業化を本格推進～

当社は、このたび、フィジカル AI ロボット事業へ参画し、ヒューマノイドロボット領域における研究開発および事業化を推進することを2026年4月16日付で決定いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 本件の背景と目的

近年、AIはソフトウェア領域にとどまらず、現実世界における「認識・判断・行動」を統合するフィジカル AI (Embodied AI) へと進化しており、なかでもヒューマノイドロボットは、労働力不足の構造的課題への対応、産業オペレーションの高度化、サービス提供の再設計を実現し得る技術として、今後の成長が期待されております。

当社は、こうした事業環境を踏まえ、中長期的な成長機会の獲得を目的として、フィジカル AI ロボット事業へ参画することといたしました。

本件を通じて、次世代産業領域における事業基盤の構築を進めるとともに、新たな収益源の育成を図ってまいります。

#### 2. 本件の概要

当社は、本件において、中国のフィジカル AI・ヒューマノイドロボット企業である Galbot Co., Ltd. (以下、「Galbot 社」といいます。) および、日本国内での販売支援、導入支援、技術支援を担う株式会社ビッグハンズと連携し、日本市場におけるヒューマノイドロボットの研究開発および事業化を推進してまいります。

Galbot 社は、フィジカル AI および汎用ロボット分野における先進企業であり、同社公表によれば、2025年12月に3億米ドル超の新規資金調達を実施し、累計調達額は8億米ドル、企業評価額は30億米ドルに到達しております。

また、製造、物流、小売、ヘルスケア等の分野において実装を進めており、複数の実運用実績を有しております。

当社は、Galbot 社の技術力および製品競争力と、株式会社ビッグハンズの日本市場における現場実装力、運用設計力および保守支援体制を組み合わせることで、日本国内における実用性の高い事業モデルの構築を目指してまいります。

#### 3. 事業推進体制

当社は、フィジカルAI分野におけるロボットビジネスの一環として、このGalbot社が開発したロボットの販売および導入支援事業を開始した株式会社ビッグハンズ※と連携し、当社は、単なる機体販売にとどまらず、研究開発、PoC、導入支援、保守運用、データ活用までを一体的に捉えた事業モデルの構築を目指してまいります。

※ご参考：フィジカルAI事業開始およびGALBOT販売展開のお知らせ（株式会社ビッグハンズ）  
<https://www.bighandz.co.jp/notices/2026-02-10-AboutPhysicalAI.html>

本事業における各社の役割は、以下を想定しております。

(1) Galbot社

ヒューマノイドロボット本体および関連技術の開発・提供

(2) 株式会社ビッグハンズ

日本市場における販売支援、導入支援、技術支援、現場運用設計、保守支援

(3) abc株式会社

事業主体としての事業企画、研究開発、事業開発および国内展開の推進

初期フェーズにおいては、物流領域および医療関連領域を中心に、PoC（概念実証）、研究開発および導入準備を進めてまいります。これらの領域は、人手不足対応、業務効率化、長時間稼働ニーズ等の観点から、ヒューマノイドロボットの導入効果が期待される分野であります。

今後は、初期導入における運用実績および知見を踏まえ、小売、サービス、エンターテインメント等への展開可能性についても検討してまいります。

また、本件で対象とするGalbot社の主力機種「Galbot G1」は、同社公式情報によれば、身長1,730mm、フル充電時の連続稼働時間10時間、水平リーチ1.9m、可搬重量10kg、作業高さ0~2.4mに対応する仕様を有しており、物流、製造、小売、医療等の分野における活用が想定されております。

当社は、当該製品の日本市場における適用可能性を検証しつつ、日本の現場環境に適合した運用モデルの構築を進めてまいります。

今回、当社は株式会社ビッグハンズと製品売買契約を締結し、フィジカルAIロボット事業への参画に向けて初期投資として、ヒューマノイドロボット「Galbot G1」1台を導入し、物流領域および医療領域における実証実験（PoC）を実施することを本日付で正式に決定しております。

#### 4. 事業連携する相手先概要

(1) Galbot Co., Ltd.

(1)	名 称	Galbot Co., Ltd.
(2)	所 在 地	中国北京市海淀区海淀大街3号1幢14層1401
(3)	代表者の役職・氏名	Co-Founder & CTO He Wang
(4)	事 業 内 容	・エンボディドAI（具現化AI）および汎用ロボット（AGIロボット）の研究開発・製造、マルチモーダル大言語モデル（LLM）をベースにしたロボット開発 ・商業、産業、医療などの分野における自律型ロボットの導入
(5)	資 本 金	1,756.34万人民元
(6)	設 立 年 月 日	2023年5月19日
(7)	会 社 ホ ム ペ ー ジ	<a href="https://www.galbot.com/">https://www.galbot.com/</a>
(8)	大株主及び持株比率	相手先の意向により、非開示とさせていただきます。
(9)	上 場 会 社 と	資 本 関 係 該当事項はありません。
	当 該 会 社 の 関 係	人 的 関 係 該当事項はありません。
		取 引 関 係 該当事項はありません。

	関連当事者への該当状況	該当事項はありません。
(10)	当該会社の最近3年間の連結経営成績及び連結財政状態	相手先の意向により、非開示とさせていただきます。

株式会社ビッグハンズ

(1)	名称	株式会社ビッグハンズ	
(2)	所在地	東京都千代田区麹町4-4-4 ACN 麹町ビル6F	
(3)	代表者の役職・氏名	代表取締役 潘 若衛	
(4)	事業内容	情報処理事業、ヘルスケア事業、貿易関連事業	
(5)	資本金	5,000万円	
(6)	設立年月日	1998年12月11日	
(7)	会社ホームページ	<a href="https://www.bighandz.co.jp/">https://www.bighandz.co.jp/</a>	
(8)	大株主及び持株比率	潘 若衛 100%	
(9)	上場会社と当該会社の関係	資本関係	該当事項はありません。
		人的関係	該当事項はありません。
		取引関係	該当事項はありません。
		関連当事者への該当状況	該当事項はありません。
(10)	当該会社の最近3年間の連結経営成績及び連結財政状態	相手先の意向により、非開示とさせていただきます。	

5. 今後の見通し及び事業開始時期について

本事業の開始時期については、2026年9月開始予定を目途に協議を進めております。

本事業が当社の2026年8月期の連結業績に与える影響につきましては軽微であります。2027年8月期以降については、本事業の進捗によって実施していく具体的な収益化も決めていく過程でもあるため、未定であります。

もっとも、本件は当社の中長期的な成長戦略における新規事業領域の一つとして位置付けており、今後、事業進捗、業績影響等、開示すべき事項が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

以上